



三人目が産まれるけど保育料が負担：： 子育て中のママから声をいただきました

孫と一緒にたまりーなの広場に遊びに行きました。大勢の親子連れが休日を通り過ぎていました。来年度の保育申し込み受付が行なわれて、市が調整に入っています。待機児童の解消が本当にはかれるかがとても心配です。

低賃金の中、仕事をせずにお父さんだけの収入で子育てすることに無理がある。子どもを産み育てる事と、仕事をする事がセットにできないと少子化は止まりません。

実は女性の非正規率が上がったことで、半分くらいの方が産休さえまともにとれない世の中になっています。

昨年度子どもの保育料の無料化が行なわれましたが、3才未満は適用外です。下の子への保育料の減免も上の子が学校に入るとなくなります。今年も女性の「妊娠率」が低下してきて来年の出生率の落ち込みは避けられないとの事です。将来が不安で出産を控える、ということのようです。

子どものいない

まちに未来はない
ですよね。効率重視で地域密着の公立園をなくし、



大規模な民営こども園化を図ってきた掛川市。歩いて通える家の近くに保育園があった昔の方が子育てはしやすかったのでは。

・三人目以降の子どもの保育料の無料化

・国保税の子どもの均等割廃止

・利用しやすい就学援助

・学童保育の定員増
など、企業誘致より、子育てしやすいまちづくりの方が人口増にもつながるのではないかと私は思っています。

この国の報道は 大丈夫でしょうか？

本当に民主主義国家？
と思ってしまうようなアメリカの大統領選挙でした。

しかしそれ以上に、やっと始まった国会の審議よりも、他国の大統領選を連日トップで長々と報道するニュースに危機感を感じました。

政権よりの情報操作は戦前の大本営発表を彷彿させます。

学術会議の任命拒否を正当化する自民党。国会でも答弁不能、支離滅裂ぶりが際立っています。民主主義を守りましょう！

農家の皆さんもためらわずに持続化給付金の申請を

おコメの消費が減って昨年のお米が余り、米価が下がっている。お茶が売れず収入が減った。営業を自粛した、仕事がなくなったという事業者の皆さんのような直接の影響とは違うため、持続化給付金の申請をする事を躊躇している農家の皆さんはいないでしょうか。

食料生産をになう農業は一旦やめてしまえばそう簡単に戻せないと言う特徴を持ち、自然の影響も大きく、今回のコロナの影響も受けたわけですから、給付金の仕組みとして多くの農業者の皆さんにも申請が可能な設計になっています。1/15が切です。ためらわず申請をして私たちの命を支える食料生産を続けてほしいと思います。



市役所の森の梢に小鳥たちが集まっておしゃべりしています。

本来は一回限りの給付では何ともならないところも多く、来年の申請継続も大いに考えてほしいところです。

販売始まっています

9日から郵便局窓口（簡易郵便局を除く）での販売が始まりました。

商品購入引換券と身分証（運転免許証、保険証等）が必要
です。

12/28まで

平日9時～17時

* * *

インターネット販売は12/13まで入金確認後ゆうパックで送付されます。



掛川市プレミアム付商品券
掛川ささえあい応援券

一般世帯 10,000円で15,000円分のお買い物!!
子育て世帯 10,000円で20,000円分のお買い物!!